

石田校長から卒業証書を受け取る卒業生
 ≪東高体育館



東高校卒業式

金沢学院東高校の第56回卒業証書授与式が3月1日、同高体育館で行われ、247人が教職員や保護者、在校生の祝福を受けて、学びやを晴れやかに巣立ちました。新校舎で卒業式が行われたのは、今回が初めてです。

各クラスの担任が卒業生の名前を読み上げ、総代の野口真里奈さんが石田毅士郎校長から卒業証書を受け取りました。

学び取る謙虚な姿勢を



答辞を述べる後藤さん（中央）
 ≪東高体育館

々新しい自分を創造する努力を怠らない『創造の精神』と、共に助け合って生きていく『共生の心』を持って新しい道を歩いてほしい」とはなむけの言葉を贈りました。

学校法人金沢学院の飛田秀一理事長は「これから出会ういろいろな人から何かを学び取るうという謙虚な姿勢と、困難にぶつかっても、それは自分が成長するための勉強なのだ、という強い気持ちを持ち続けてほしい」と告示を述べました。

星美会（同窓会）の齋藤千佳子会長の祝辞と、在校生代表のプリパッタラバン・パリン君の送辞にこたえて、卒業生総代の後藤菜摘さんが「進む道は違っても、友人とは大切に付き合っていく」と答辞を述べました。

創意あふれる衣装を披露

金沢学院短大が卒業研究展



第9回金沢学院短期大学卒業研究展のフアッシュョンショー写真が2月28日、金沢市民芸術村で開かれ、生活デザイン学科アパレル&フアッシュンコースの学生14人が創意あふれる衣装で学習成果を発表しました。学生たちは色とりどりの衣服で四季を表現するなど、個性豊かなステージを繰り広げました。

金沢市民芸術村では3月1日まで、生活デザイン学科のスペース&インテリアコース7人とカラー&ビジュアルコースの17人による作品展も開かれました。店舗の模型やふるさとをPRするポスター、手作り絵本などが展示されました。

厳しい情勢反映、参加3割増

金沢学院大学・短大の企業説明会

金沢学院大学と金沢学院短期大学の学内合同企業説明会は2月16日、5号館食堂で開かれました。厳しい雇用環境が続く中、就職を希望する大学3年生と短大生約400人が企業の採用担当者の話に真剣な表情で聴き入りました。

県内外の小売りやサービス、福祉、金融など53社がテーブルを設けました。景気の低迷で雇用情勢の悪化を懸念する学生が多く、参加者は昨年比



企業の採用担当者の説明に聴き入る学生
 ≪5号館食堂

で3割増えました。リクルートスーツに身を包んだ学生は、担当者に採用計画や業務内容などについて質問していました。



訪ねる真上、幹部候補生として誇りをもち、仕事に当たりたい」と抱負を語りました。

発行・広報室

個性光る作品を展示

金沢学院大学美術文化部の卒業研究制作展写真が2月24日から28日まで、県立美術館で開かれ、美術工芸、情報デザイン、文化財の各学科と美術文化専攻科の計90人による個性光る



作品や研究論文などが来場者の注目を集めました。日本画や洋画、陶芸、映像作品などが並びました。

幹部候補生の道に意欲

自衛隊幹部候補生試験に合格した金沢学院大学美術文化部の橋本裕太郎君（22）と文学部の本間俊佑君（22）が先ごろ、学長室に石田寛人学長を